

# 紙飛行機 伝えてゆこう

大阪市シルバーアドバイザー連絡協

広域

大阪市シルバーアドバイザー連絡協議会  
(上島三郎会長)

員らが四日、紙飛行機で世代交流を図ることを目的にした団体「紙ヒコーキ倶楽部」を結成した。前田正勝代表(六巴)は「自らが楽しむのと同時に、制作の指導ができる人を育てていきたい」と話していた。

## 指導者の育成「倶楽部」発足

同協議会は大阪市内を中心にボランティア活動を行っている団体。小学校などに出向いてのおもちゃづくり教室や、グラウンドゴルフ大会などを開いている。

「日本紙飛行機協会」の指導員でもある前田代表が会員に提案した

同協議会主催の全国大会も開かれている。大会に出場する「切り紙飛行機」は特別な紙で作られ、滞空時間が一分以上にもおよぶという。これまで前田代表は府内で紙飛行機教室を開き、普及に努めてきた。同倶楽部では指導者の育成を中心に活動していく。最初の会

紙飛行機の愛好家は全国に広がっており、同協会主催の全国大会も開かれている。大会



紙飛行機の世界を「楽しく伝えたい」と団体を作った前田代表

合では簡単な「折り紙飛行機」の作り方を前田会長がレクチャー。折りあがった飛行機を手で、メンバーは公園に足を運び、早速、初飛行を楽しんだ。前田代表は「紙飛行機は紙一枚あればできる手作りのおもちゃ。幼稚園や小学校などで大人も子どもも楽しめることを広めていきたい」。メンバーの紺田哲雄さん(六巴)は「最初に飛ばしたときはとても気持ち良かった。自分も子どもに良さを伝えられれば」と話した。同倶楽部の問い合わせは電話090(3615)1908、前田代表へ。

(椎葉直)